

2/13 3千人で力を合わせる 五中学校生徒会連合体の新役員が訪問

昨年7月、市内の中学校の生徒会が活動を活性化するためで発足した筑紫野市内五中学校生徒会連合体。各中学校の生徒会役員が代替わりしたため、この日、各学校の代表が集まり、藤田市長に報告しました。

昨年は世界の難民キャンプに子ども服を送るプロジェクトを行い、5中学校で3,424着を集めました。今年もまた、市内の中学生約3千人の力を合わせ、知恵を出し合いながら活動を行います。



2/13 頂へ 敬意を胸に、戦意を拳に 拳栄会館福岡支部全日本大会出場決定報告

11月に開催された第29回POINT&KO全九州空手道選手権で筑紫野南中学校3年の野口 空さんが優勝、空さんの弟で筑紫東小学校1年の野口 大和さんが3位に入賞。3月31日(土)に東京武道館で開催される第13回全日本青少年空手道選手権大会への出場を決めました。

野口 空さんは「前は準優勝だったので、気を引き締め、相手に敬意を払いながら絶対に倒すという気持ちで戦います」、大和さんは「優勝したいです」と話してくれました。



藤田市長(右)に報告する野口 空さん(左)と大和さん(中央)

2/21 広げよう 地産地消の輪

2月14日に福岡市で開催された「食育・地産地消県民大会」で、御笠まちづくり振興会(コミュニティ運営協議会)がふくおか農林漁業応援団体の優良団体表彰を受けたため、この日、藤田市長に報告しました。

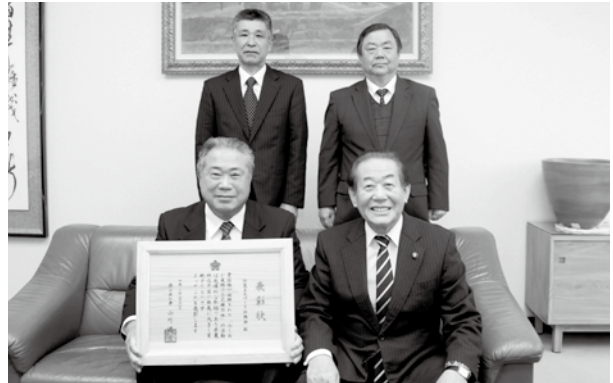
御笠まちづくり振興会の地産地消部会では地元生産者の新鮮な農産物や加工品などを軽トラックで販売する「みかさの朝市」の定期的な開催や、御笠コミュニティセンターの無人販売所「みかさの里」の出荷者への支援、農

御笠まちづくり振興会、ふくおか農林漁業応援団体の優良団体表彰を受賞

園が実践する元気野菜作り講座を開催するなど、地産地消を推進するため積極的に活動を行っています。

また、コミュニティスクール事業の一環として、小学生や地域住民と野菜の植え付け、収穫をする交流会などを行い、食育にも力を入れています。

御笠まちづくり振興会の八尋 一男会長は「地域で地道に取り組んできたことが評価され嬉しいです。今後も新たな取り組みなど行っていきたい」と話していました。



八尋会長(前列左)、地産地消部会の八尋部会長(後列右)、平嶋副部会長(後列左)



御笠コミュニティセンターの無人販売所「みかさの里」